

事例紹介 | 資源エネルギー庁 | バイオ燃料等の在り方に関する調査

背景・課題

- ◆ わが国では高度化法に基づく判断基準（高度化法告示）において、石油精製事業者に対し、ガソリン代替となる**バイオ燃料の導入目標を設定**している。
- ◆ また、軽油・航空燃料についても、温室効果ガス削減のため、**バイオディーゼル・バイオジェット**の導入が期待されている。
- ◆ バイオ燃料は**輸入依存度が高く、従来型のバイオ燃料は食料競合や環境への影響**といった懸念があることから、廃棄物等を原料とした次世代バイオ燃料の国産化が期待されている。
- ◆ 上記の背景から、**バイオ燃料の国際的な導入状況や導入促進策等について調査**するとともに、わが国で実用化が期待されている**次世代型バイオ燃料のコスト構造分析**などが求められていた。

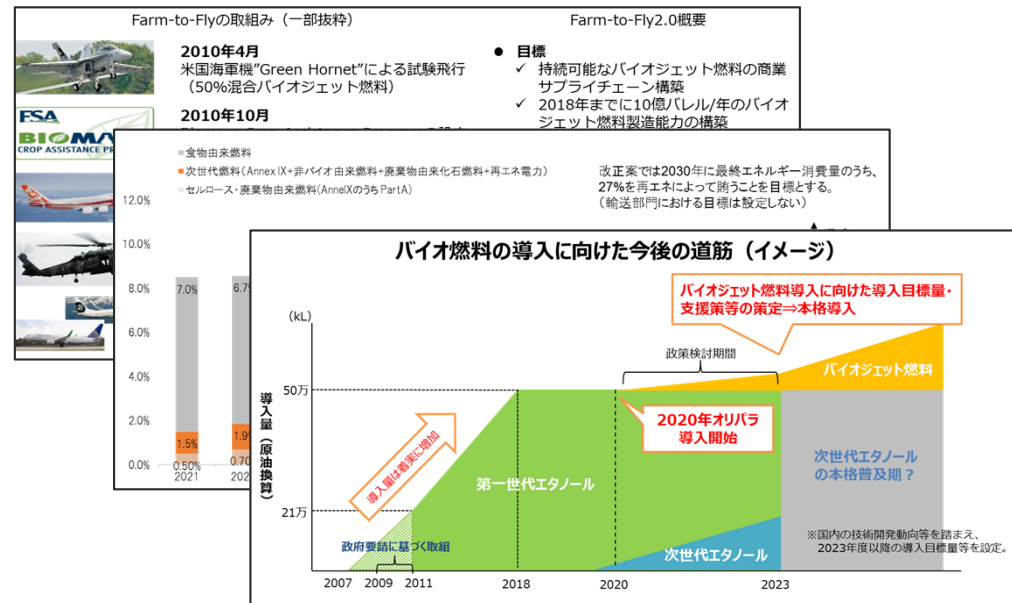
お客様概要

業種	官公庁
売上高	-
従業員数	-
事業概要	-

プロジェクト概要

- ◆ **バイオ燃料に関する調査（バイオエタノール、バイオディーゼル、バイオジェット）**
 バイオ燃料の導入が進む欧州や米国を対象に、バイオ燃料の導入状況や導入政策、導入課題、プロジェクト事例等について調査を行った。調査にあたっては机上での調査に加えて、現地政府機関、事業者等へのヒアリング調査も実施した。
- ◆ **バイオ燃料のあり方検討委員会等の開催・運営支援および取り纏め資料の作成**
 バイオ燃料のあり方検討委員会、技術検討委員会、道筋検討委員会（バイオジェットの検討含む）の開催、運営、資料作成等の事務局業務を行った。また、上述の調査・分析を踏まえ、具体的制度設計の検討を行うとともに、追加的な調査・検討に幅広く対応を行った。

バイオ燃料に関する情報を調査・分析



実施成果

- ◆ **バイオ燃料の導入拡大に向けた今後の検討方向性を具体化**
 関連する事業者・団体等への調査・ヒアリング結果等を通して、最新データの収集・蓄積したことに加え、検討会の運営を通じて、今後のわが国における政策検討の方向性を具体化。
- ◆ **バイオディーゼル、バイオジェットを含むバイオ燃料の海外最新動向を体系整理**
 欧米のバイオ燃料導入・政策動向を調査・分析し、国内バイオ燃料政策立案や関連事業者の事業検討に資するような情報を収集・整理。

担当コンサルタント



段野 孝一郎 ダンノ コウイチロウ

環境・エネルギー・資源グループ
ディレクター/プリンシパル



西村 信吾 ニシムラ シンゴ

環境・エネルギー・資源グループ
マネージャー



豊島 健太 トヨシマ ケンタ

環境・エネルギー・資源グループ
コンサルタント